

今昔物語

その66

相野谷川での水泳

大里 地区



昭和18年ごろ

写真：野中誠一氏提供



現在

今回は、昭和18年ごろに撮影された相野谷川で泳ぐ子どもたちの写真を紹介します。この写真は、大里地区の野中誠一さんに提供いただいたもので、現在の相野谷川の下流、相野谷橋付近から撮影した1枚です。小学生ぐらいの子どもたちが何十人も川の中で泳いでいます。

この写真の裏には「昭和十八年頃 相野谷橋上流 大里国民学校水泳」と書かれており、学校の授業の一環で泳いでいることが伺えます。

地域の方にお話を伺ったところ、相野谷地区では昭和48年にプールができるまでは、水泳の授業は写真のように川で行っていたそうです。また、写真の左側の方が深く、高学年の子どもたちは左の岸から飛び込みをして遊んでいたそうです。

その後、上流に大里自然プールが整備され、住民の憩いの場として現在も親しまれています。

昔の風景写真を募集します

広報きほうでは、みなさんのお宅に眠っている昔なつかしい風景写真を募集しています。本人またはご家族が撮影された、著作権を完全に保有されているものに限り、受け付けさせていただきます。このコーナーでご紹介させていただこうと思っています。詳しくは、役場企画調整課（☎33-0334）までお問い合わせください。

ひやうほう

広報きほうを卒業します（2回目）

ついに（今度こそ）広報きほうを卒業します。

今の部署にきてから早10年。広報の担当を9年させていただきました。広報という仕事は、住民のみなさんに読んでもらって初めて意味がある仕事で、行政の情報を読んだ「伝える」ではなく、読んでいただいているみなさんに「伝える」広報になればという気持ちで作ってきましたが、いかがでしたでしょうか。

改めて、広報を作るにあたって取材に応じてくれたみなさん、情報を提供してくれたみなさん、何よりも広報を読んでくれたみなさん、これまで本当にありがとうございます。今後とも広報きほうをよろしく願っています。

（ひやびさの異動で気分は新人職員 愛野裕基）

広報きほうを卒業します

今月号をもって、1年間担当した広報きほうを卒業することになりました。

広報の担当になったばかりのときは、初めて手にする一眼レフカメラの扱いにとても苦戦して

いて、撮影した写真がよくピンぼけしていました。ずっと苦手意識があったものの、取材を何回も経験していくうちにカメラに慣れ、貴重な一瞬を写真に収めることの楽しさを実感できるようになりました。今では、撮影が楽しくなり、休日には風景や街並みを撮りに出かけるほどカメラが私の趣味の一つになりました。取材を通じて身につけた構図の工夫や光の捉え方を活かしながら撮影することが、とても充実した時間になっています。

最後になりますが、今後とも広報きほうをよろしく願います。1年間ありがとうございました。

（次の広報担当者は： 森雅貴）



広報担当
森です。



広報担当
愛野です。